

歩けば必ず数になります。 鍵は歩く仲間をいかに増やすのか

励まされ元気に歩いています

越前市実行委員会 大久保恵子

武生と今立の商店街を4日間、8時間ほど「福島」の現状、避難計画が十分でないなかで、国は原発の再稼働を考えています。再稼働を認めないで下さい」と知事へのお願いの署名です」と言っていました。

署名に全く抵抗はない様子で、「原発は必要」という方もほとんどなく、対話の中で、「頑張つて」「暑いのに「苦労さん」と励ましやねぎらいの言葉を頂き気を良くしています。

また、同じ町内に住む『生活と健康を守る会』の高島さんとともに、3日間計6時間ほど歩きました。こちらも同じような状況でした。

私の感想では、今まで苦労して活動してきた集める側の人で頭でっかちになったり、腰が重くなったりしていますが、福島以降は市民・県

民の多くの皆さんは、「ごく普通に」「ごく素朴に」原発に疑問や不安を感じているということを感じました。もちろん地域差はあると思いますが、「福井地裁の判決」（経済よりのち）です。

「本当の豊かさ」本当に大切なもの」を考へながら、空いている時間を使ってポチポチ元気に再稼働反対の署名集めに歩きたいと思えます。歩けば必ず数になります。いかに歩く仲間と一人でも多く増やせるかがカギだと思います。まだ歩いていない方、一度騙されたと思って歩いてみて下さい。

越前市でも敦賀のように組織的なローラー作戦も行い、1千筆に届いた署名数のさらなる飛躍を起したいと考えてます。

地元集落総訪問：断られたのは一軒だけ

あわら市

あわら市金津地区に住むHさんは地元集落を全戸訪問。断られたのは一軒だけ。隣の集落にもHさんの区長さんと共に訪問し、ほとんどの方から署名が寄せられました。

坂井市

「いらんぞ原発！坂井市民の会」では宣伝カーも仕立てて署名運動

敦賀市

**土曜日5回5回の行動で426軒訪問
「思ったよりよかった」「やはり厳しい。平日の行動が大事」**

「ふるさとと子どもの未来を考える敦賀の会」は13・14・18・20・21日の5日間、午前と午後に分けて統一行動をしました。

統一行動でのべ21組37人が参加し、425軒を訪問。対話できた187軒のうち66軒で10筆の署名をもらえました。

原発立地ならではの厳しさもあり、83軒で断られました。しかし、「気持ちには反対だが、身内が働いているから、すみません」などの声が多く出されました。留守の239軒には署名用紙とアンケート、リーフレット、返信用封筒をポストに投入しています。さっそく「原発反対、がんばって



の機運を高めようとかんばつています。先月の「県民署名の集い」で「千人の署名を集める」と発言した女性も出ています。坂井市の署名到達は300筆になっています。

「ださい」と書かれたアンケートとともに、家族2人の名前が書かれた署名用紙が返送されてきて、励まされています。参加者からは「もつと反応が悪いと思ったが、全体として良かった」「署名はしてもらえなかったが、話をきかせてもらってよかった」「土日だけでは進まないの、平日行動も組んでがんばりたい」などの感想が寄せられました。

27日(土)午後2時から敦賀市男女共同参画センターにて福井地裁判決の意義について中野哲彦さんを講師に学習会を開催します。

10月4～10日午後6時過ぎから、福井市順化1丁目2-14のメトロ劇場で原発事故以降の福島の子もたちを追ったドキュメンタリー映画「A2-B-C」の上映があります。

1人1000円の前売券。電話0776-21-5321まで事前に連絡あれば、当日劇場で800円で入場できます。(A2-B-Cを見る会が補助)

映画上映は毎日午後6時20分からですが、その前の6時から、ミニ学習会が開催できます。この場を生かして学習や署名の提起を予定しています。

光陽クリニックの平野医師は5日(日)、山本富士夫共同代表が6日(月)、平和センターが7日(火)など分担して訴えます。

●原発反対福井県民会議より、福島原発事故の「放射線管理地域を訪ねる旅」(11月22～23日・・・参加費は半額を県民会議が補助し15000円)の要請が来ています。定員45名のバスツアーです。申し込みは0776-25-7784まで

福井市では16日に約70名の参加でスタート集会を開催しました。

坪田康男弁護士を講師に「福井地裁判決の意義」についての学習会

- ◆勝山市実行委員会は9月27日(土)午後7時より、すこやか多目的ホール
- ◆越前市実行委員会は、10月4日(土)午後2時から、越前市生涯学習センター。

西川一誠福井県知事への要請署名を広げよう

原発の再稼働を認めないでください

「もう動かすな原発！福井県民署名」実行委員会ニュース No.4 2014. 9. 21